



No. 329

高齢者だと思える年齢は何歳からでしょうか？

厚生労働省の調査では、「70歳以上」が最も多く健康寿命（2013年時点では男性71.19歳、女性74.21歳）に近づいています。

厚生労働省の「平成28年版 厚生労働白書」から、高齢期の暮らしに関する意識についてみてみましょう。

高齢期の就労状況ですが、2015年の65歳以上の労働力人口は744万人（前年は696万人）と増加傾向にあります。労働力人口総数に占める構成割合は11.3%と1970年（4.5%）から約2.5倍に増加しており、高齢化傾向となっています。

就業率は、男性60～64歳74.3%、65歳以上29.3%で、65歳以上の高齢者の就業形態としては、非正規の職員・従業員が7割超で、60歳以降の継続雇用者の給与は、定年到達時を100とした場合に減少するケースが多くなっています。

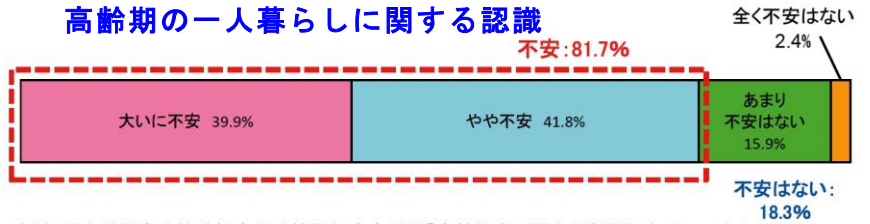
高齢期に生活したい場所は、やっぱり「自宅」（72.2%）が圧倒的に多くなっています。高齢者の単身世帯は増加傾向にあります。高齢期の一人暮らしには8割超が不安（「大いに不安」39.9%、「やや不安」41.8%）を感じています。

自身の健康について不安を感じることは、体力の衰え、がんや生活習慣病になることに加えて、認知症になること、介護が必要になること、寝たきりになることに不安を感じています。

平成28年版 厚生労働白書から

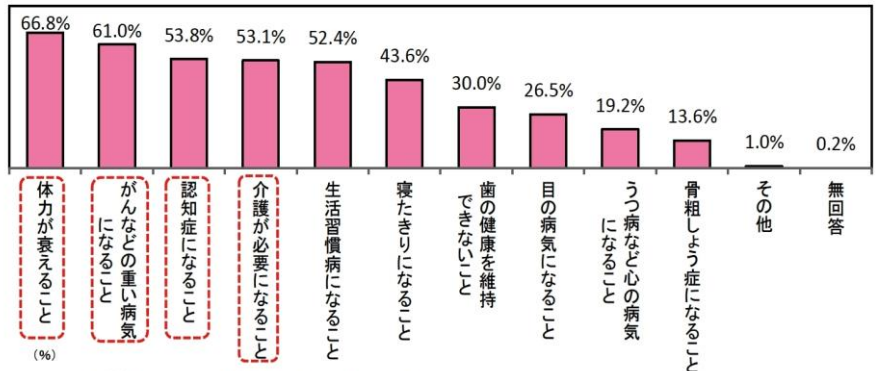
高齢化を乗り越える健康と経済的な準備

高齢期の一人暮らしに関する認識



資料:厚生労働省政策統括官付政策評価官室委託「高齢社会に関する意識調査」(2016年)

自分の健康について不安に感じること

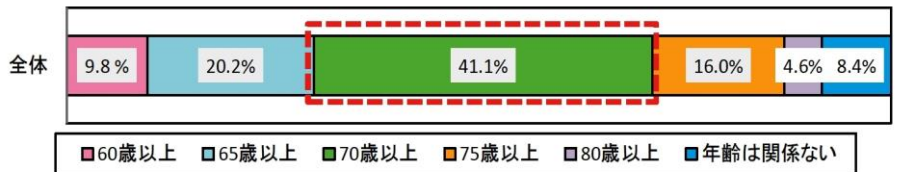


資料:内閣府「高齢期に向けた「備え」に関する意識調査

(注)1. 全国の35～64歳の男女を対象(有効回収数2,707人)

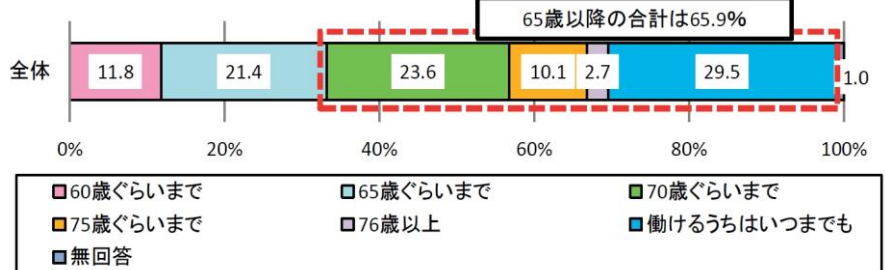
2. 設問は、高齢期の健康に関して「常に感じている」、「時々感じている」と回答した人(1,975人)を対象に「あなたは、高齢期におけるご自分の健康についてどのようなことに不安を感じていますか(いくつでも)」

高齢者であると思う年齢



資料:厚生労働省政策統括官付政策評価官室委託「高齢社会に関する意識調査」(2016年)

何歳まで働きたいか



資料:内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」(2013年)

AIG富士生命保険株式会社

〒105-8633 東京都港区虎ノ門4-3-20
神谷町MTビル